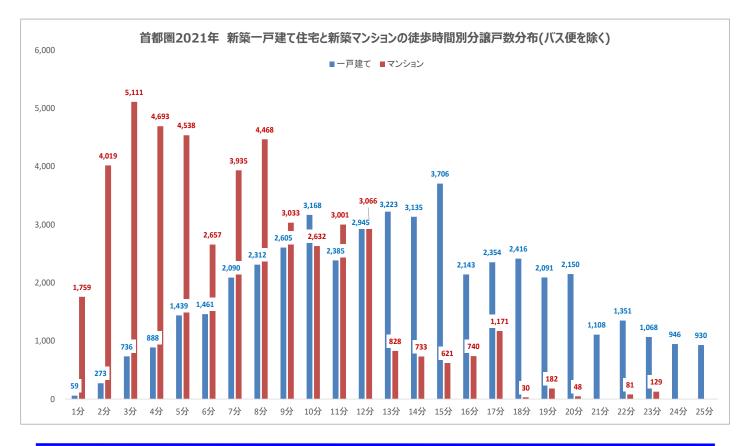
東京カンティ 「一戸建て住宅データ白書 2021 (首都圏)」発表 新築一戸建て・新築マンションの最寄駅からの駅徒歩所要時間はコロナ禍では変化せず

立地分布は新築一戸建ては 15 分にピーク 新築マンションは 3 分にピーク 明確な差が表れる

●新築一戸建ては徒歩 15 分を中心に広く分布、新築マンションは用地取得難で駅遠物件が増える

最寄り駅からの徒歩時間別に 2021 年に新規分譲された一戸建て住宅と新築マンションの分譲戸数分布を見ると一戸建て住宅とマンションでは立地選択の差異が明確に表れる。(バス便物件を除いて 25 分まで集計) 新築一戸建て住宅は徒歩時間については、2017 年にこの分析を開始して以来一貫してほぼ正規分布している。前年と比較しても一戸建て住宅の分布はほとんど変化しておらず、依然ピークは 15 分に存在する。2021 年はコロナウイルス流行の影響で市場にどのような変化が出るのかを見たが、最寄駅からの所要時間については、2020 年以降 2021 年に至るまでまったく変化が見られない。一戸建て住宅においても一定の交通利便性と周辺環境との兼ね合いで立地が選別されている状況に変化はない。今後も立地に変化は起こらないということは言えないが、一戸建て住宅は実需で購入する人が多いため、コロナ禍が予想を超えて長期化する中では、生活利便性を犠牲にした住宅購入へのシフトが起こるとは考えにくく、駅徒歩時間を長くするという変化は起こりにくいと考えるべきである。

一方、新築マンションでは 2021 年も引き続き駅徒歩 5 分以内に強いこだわりを持って供給されていた様子がわかる結果である。マンションは都市型住宅として駅近の価値が高く評価される傾向がある。そのため 5 分だけでなく 8 分にも山があり利便性の基準となっていることが窺える。コロナ禍前はホテル業界との土地の奪い合いが激化し、マンション業者同士の用地取得合戦が継続していた。マンション事業は用地取得から分譲開始まで数年を要するのが一般的であることから、2021 年に首都圏で駅 8 分物件が増加したのは、コロナウイルス流行の結果ではなく、ここ数年来の用地取得難が影響したと考えられる。



発 行 リリース日 株式会社 東京カンテイ 2022年1月31日(月) ※本記事の無断転載を禁じます。

●2021年 行政区別新築一戸建て分譲戸数ランキング

2021 年の首都圏行政区の中で 1 年間に新築一戸建て住宅が最 も分譲されたのは埼玉県川口市 で 1,455 戸であった。川口市は 2019 年に 1,426 戸で 2 位に順 位を下げたが、2020 年は 1 位 (1,402 戸)に返り咲き、2021 年 も 2 年連続で 1 位を守った。2 位は千葉県船橋市で 1,160 戸で あった。前年は船橋市に 1,313 戸の供給があり、順位は変わらず 2 位となったが供給戸数は減少し た。3 位は東京都足立区の 1,138 戸となった。足立区は前年 に1,215戸が供給されて4 位とな っていた。前年 3 位であった東京 都練馬区は870 戸に留まり5 位 に後退したが、前年の 1,248 戸 から 30.3%も減少した。

ベスト10 の顔ぶれを見ると、増加 傾向が続いている埼玉県の中で 川越市が前年の 13 位から 4 位 に食い込んでおり戸数も 1,079 戸と前年の 757 戸より 300 戸以 上増加した。また東京都町田市も 前年の 11 位から 6 位に上昇して おり戸数は867戸(前年759戸) から 100 戸以上増加している。反 対に前年 5 位であった千葉県市 川市は 747 戸(同 1,033 戸)に 留まり11位に後退し、8位であっ

2021年 首都圏行政区別新築一戸建て住宅分譲戸数ランキング

首都圏					
順位	前年	都県名	行政区名	一戸建て戸数	マンション戸数
1	1	埼玉県	川口市	1,455	244
2	2	千葉県	船橋市	1,160	895
3	4	東京都	足立区	1,138	547
4	13	埼玉県	川越市	1,079	23
5	3	東京都	練馬区	870	1,159
6	11	東京都	町田市	867	663
7	6	東京都	八王子市	853	166
8	7	千葉県	松戸市	836	359
9	10	埼玉県	所沢市	819	395
10	9	神奈川県	藤沢市	748	1,419
11	5	千葉県	市川市	747	92
12	18	神奈川県	茅ヶ崎市	688	399
13	22	埼玉県	上尾市	650	122
14	23	埼玉県	越谷市	635	46
15	_	神奈川県	相模原市中央区	632	140
16	15	神奈川県	相模原市南区	631	113
17	_	東京都	府中市	628	372
18	12	東京都	江戸川区	571	1,007
19	14	千葉県	柏市	551	519
20	_	神奈川県	平塚市	544	418
21	21	神奈川県	横浜市旭区	508	
22	27	東京都	東村山市	506	
23	_	神奈川県	横須賀市	491	35
24	16	千葉県	八千代市	488	
25	28	神奈川県	大和市	484	290
26	26	埼玉県	春日部市	479	
26	19	埼玉県	草加市	479	229
28	25	東京都	大田区	478	963
29	_	埼玉県	狭山市	476	
29	_	神奈川県	横浜市港南区	476	302

た東京都杉並区は 474 戸(同 826 戸)とほぼ半減したため惜しくも圏外に去っている(31 位)。

戸数の連続増加傾向を受け埼玉県の行政区が躍進している一方で、価格上昇の影響が大きい東京 23 区の行政区では前述の杉並区だけでなく、江戸川区が 12 位から 18 位に(758 戸 $\rightarrow 571$ 戸)、大田区 が 25 位から 28 位に後退(541 戸→478 戸)したに留まらず、前年 19 位の板橋区、29 位の葛飾区も圏 外に去った。

一戸建て住宅調査対象の条件:①敷地面積 50~300 ㎡の物件 ②最寄り駅からの所要時間が徒歩 30 分以内かバス 20

分以内の物件 ③木造 ④土地・建物ともに所有権の物件

対象地域:全国

地域区分:【首都圈】 東京都 神奈川県 千葉県 埼玉県

発 行 株式会社 東京カンテイ リリース日 2022年1月31日(月)

※本記事の無断転載を禁じます。